

令和3年度 第10回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日時】 令和4年1月27日(木) 17:00~18:30

【場所】 厚田学園3階多目的室

【出席者】 10人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一		委員	平賀 敏和	○
副会長	東 幸子	○	委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	
委員	石田 靖子	○	委員	今 光江		委員	村本 龍一	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	森田 瞳	○
委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太		委員	八木沼 英晃	

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企画経済部 ~中西次長

厚田支所 ~東支所長

地域おこし協力隊 ~飯塚隊員、奥本隊員

事務局(地域振興課) ~高田課長、永塚主幹、佐藤主査、寺尾主査

【傍聴者】 3名

- 【次第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 情報交換会(リラックスタイム)
 4. 協議事項
 - (1) 地域おこし協力隊及び集落支援員の選考委員について
 - (2) 第9期厚田区地域協議会の運営について(継続協議3回目)
 5. 報告事項
 - (1) 厚田区地域おこし協力隊の募集について
 - (2) おためし地域おこし協力隊の実施について(中間報告)
 - (3) 厚田区集落支援員の募集について
 - (4) その他
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

開会の前に、本日、鎌田委員、今委員、角野委員、丸山委員、八木沼委員が欠席という連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。

それでは令和3年度第10回厚田区地域協議会を開会いたします。会長ご挨拶お願いいたします。

2. 会長挨拶

【渡邊会長】

皆さんこんばんは。1月も大分過ぎましたが、皆さん改めて明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。1月に入って天気も悪いし、火山も噴火したり、大きな地震があったりと、今年はあまり良い年じゃないのかなと危惧しているところです。これから良い年になることを願いつつ、皆さんと協力して協議会を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

3. 情報交換会（リラックスタイム）

【渡邊会長】

今日は初の試みとして、厚田学園で開催しました。委員の中で初めて校舎に入ったという方もいるようですが、今日の情報交換会の時間は、加藤先生（委員）に校舎内を案内していただきながら、厚田学園の取り組みについてお話いただこうと思います。質問がありましたら、都度、加藤先生に聞いてください。

～以下加藤委員の案内で校舎内を見学しながら学校の取り組み等の説明を聞く～終了後多目的室に戻る。

【渡邊会長】

加藤先生、ありがとうございました。リラックスタイムはこれで終了します。

4. 協議事項

（1）地域おこし協力隊及び集落支援員の選考委員について

【渡邊会長】

では、地域おこし協力隊及び集落支援員の選考委員について、事務局から説明願います。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

私から、地域おこし協力隊及び集落支援員の選考委員についてご説明いたします。

地域おこし協力隊は、1月6日から2月28日までの間で募集が開始されております。集落支援員につきましては、2月1日から2月15日までの間で募集を行います。両制度とも来年度1名を採用いたしますが、募集締切後に書類審査を経て、面接試験を行い決定する流れになります。面接試験の日程ですが、集落支援員は2月24日、地域おこし協力隊は3月9日を予定しております。面接官は市職員に加え、これまで検討委員会を通じて制度の検討や検証、募集要項（案）の作成など繋がり深い、地域協議会から各1名をお願いしたいと考えております。

集落支援員は今回が初めて、地域おこし協力隊につきましては、これまでも協議会に諮り決めて参りました。本日、各1名を決定いただければと思いますので、よろしく申し上げます。

【渡邊会長】

只今事務局から説明がありました。適切な方を選んでいきたいと思いますが、皆さん何か意見はありませんか。私がやりたいという方でも結構です。

～意見無し

【 渡邊会長 】

では特に意見が無いようなので、私から提案させていただきます。集落支援員につきましては、これまで検討委員会の委員長をしていただきました、笹谷委員が適任と思いますが、皆さんどうでしょうか。笹谷委員、どうですか。

【 笹谷委員 】

分かりました。やらさせていただきます。

【 渡邊委員 】

では笹谷委員、よろしくお願いします。

また、地域おこし協力隊の選考委員ですが、これまで会長がやっけていまして、たまたまですが、私が今回の検討委員会の委員長でもありますので、私ということはどうでしょうか。但し、急に都合が悪くなることもあるかもしれませんので、その時は、東副会長にお願いするというで。東副会長、皆さんどうでしょうか。

【 東委員 】

分かりました。

～選考委員については全会一致で承認し下記に決定。

- ・地域おこし協力隊選考委員 渡邊会長 / 集落支援員選考委員 笹谷委員

(2) 第9期厚田区地域協議会の運営について (継続協議3回目)

資料1：第9回厚田区地域協議会 意見まとめ

【 渡邊会長 】

前回の協議会で、皆さんから移住定住について意見をいただきました。前回欠席された方もおりますので、まず、事務局からまとめていただいた資料について説明願います。

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

資料1をご覧ください。前回の協議で、厚田への移住定住を考えた時、こんな課題があり中々難しい、こんなことが解消されたら来てもらえるのではないか、など様々な意見が出ました。簡単に分けてみたのでご説明します。

～以下資料1により項目ごとに説明。

- ・住居、空き家の視点から、厚田に通いで仕事にきている若い人が意外に多く、空き家を上手く活用することで、住むという選択になるのではないか。仕事と住居をセットで用意できないか。
- ・交通の課題という視点から、高校生以上から通学が不便で自分の子どもに同じ思いをさせたくない。車がある人は仕事への通勤は可能だが、学生や高齢者はバスだけなのでかなり不便。
- ・仕事からの視点で、厚田では仕事の選択肢が少ない。建設業は人材不足なので、官民一体で解消に向けて取り組み企業誘致がしたい。厚田に来ることの付加価値をつけて企業が一個丸ごと来てもらえる取り組みが必要。
- ・地域の魅力をアップさせるという視点で、ふるさと納税を活用した地域独自の助成制度など考える。外から見て厚田に住むメリットが高い、と感じてもらえる取り組みを考えるべき。地域の一体感を作って、とにかく厚田に住んでいる人たちが幸せに暮らしているということをPRする必要がある。
- ・農業などの一次産業の後継者不足という視点で、この先廃業する農家の後継者対策として、新規就農者を受入れる

体制を作って、農家をやってみたいという人が、まずはトライできる環境づくり、農家としても仲間を増やす取り組みが必要。

- ・地域おこし協力隊制度の活用という視点から、最初はバイト等から農業を学び、最終的に新規就農までつなげる流れを用意する。

以上が出された意見です。移住定住一つに絞って協議しても、空き家対策や就業はもちろん、来るための条件や課題と言いますか、地域の様々な課題が絡んできます。それらの解決が必要という意見だったと思います。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。少しずつですが、厚田に農家関係や漁師関係で新たに来られた人のこと、息子さんたちが戻ってくるためにはこう考えてます等の意見がありました。外から呼び込むためには、こんなことがもっと必要だねという意見だったと思います。

ただ、今回は委員の中で実際に厚田に移住して来た方々のほとんどが欠席でしたので、今日は前回欠席された方々から少しお話を聞きたいと思います。

【 小山委員 】

お父さん、お母さんの職場が一番のネックではないでしょうか。子どもを域外から学校に通わせるのも大変だと思います。石狩の方では域外通学している学校もあると思いますが、厚田だと距離もあって難しいでしょうし。職場を探すために企業誘致が出来ると一番良いのではと思います。よその話を聞きますと、地元出身の有志の方々が学校に寄付したりというお話を聞きますが、夢物語かもしれませんが会社でも一社作っていただければなと思います。

本当に、お子さん高校に行っちゃうと、家族で一緒に行っても中々戻って来れない。例えばまちぐるみで厚田の魅力をアピールして、農家で廃業する方の跡地を借りて、地域として来た人を迎えるという準備が必要なのではないかと思えます。

空き家はたくさんありますが、親が亡くなって息子さん達が管理しているけど、中に物が一杯あって中々空き家にならない。それを行政や我々が立ち入っても良いのかということもありますね。

【 渡邊会長 】

行政が間に入れない部分は、身近なご近所の方とか、口コミで。空き家対策の市の援助もありますので、そういうのも活用しながら出来れば良いですね。

【 森田委員 】

前回の意見の中に、地域おこし協力隊制度を活用して新規就農に繋げる流れが出来ないかというのがありますが、凄く良いなと思えました。協力隊は最大3年間、新規就農のための活動期間は2年あったと思うんですが、厚真町がそのような募集をしていたと思います。そうすると、協力隊としての活動3年間はピンポイントで農家さんのお手伝いに行って、後の2年は新規就農で、色々な技術を5年間で学べるというのが良かったと聞きました。

また、必ずご夫婦で就農したいという方を優先して募集、選考していたと伺っています。そうするとやはりJAとまちとの連携が必要と聞いています。

【 渡邊会長 】

やはり流れを作る仕組み作りが大事ですね。窓口がどこで、3年間協力隊をしながら、どうやったら上手く就農のラインに持っていくかということですね。

【加藤委員】

私は厚田に来るとき、地域に拠点が欲しいと思って、最初に住宅の相談をしました。それで結構古いのしかなくて、それも今の先生と入れ替わりじゃないと入れないと言われたんですが、それでもお願いしました。そうじゃなかったら花川にアパート借りて通っていたと思います。ですから思いがあっても場所が無ければ住めないし、逆に場所を与えてもらえば住むのに意欲的じゃなかった人も、住めば都じゃないですけど愛着も湧いてくれるのではないかと思います。

先日研修で、石川県の海辺の町で棚田が有名なところのお話で、棚田の休耕地が増えて来たので、農業に興味はあるけど完全に農家をやるという気持ちにもなれない人のために、一時的な住まいと棚田の一部を貸し出して、冬になると自分の所に帰る、という取り組みの話を行いました。

厚田でも夏は農業をやって、冬は自宅に帰るという、おためし住まいが出来る環境があれば良いのではと思いました。仮住まいじゃないですけど、夏だけ厚田に住んで農業を体験、その中でじゃ腰を据えて住んでみるか、ということにつながるのではと思いました。

【渡邊会長】

我々が子どもの頃は、厚田では先生は地元に住むのが当たり前という状況だったんですが、だんだん通って来られる先生の方が多くなって。地元にいれば子ども達と一緒に地域行事にも参加して、色んな関りも多くなるでしょうけど。加藤先生のような方は貴重でありがたいですよ。地元からも何かアクションを起こさないと難しいんだろうなと思います。今後の課題ですね。ありがとうございます。

では、東副会長に、最後まとめも含めてお願いします。

【東副会長】

別の切り口から考えてみました。今コロナによって、必ずしも札幌の仕事を、札幌でしなくて良い状況が生まれていると思います。ようするにテレワークですね。空き家があって、ある程度整えられていて、厚田は海もあるし良い自然もあるし、週に一度札幌で打合せをすれば良いというお仕事の方たちに、厚田に住んではどうですか、という訴えかけをしてみるというのもありかなと思います。それこそ密を避けられますとか。書類仕事とかデザイン関係の仕事とかの方であれば、そういうのもあり得るかと思うんですよ。だからこそ、空き家のデータとか、住みやすさ、厚田の情報がダイレクトにわかるホームページを整備してはと思います。そこでは移住促進の相談員もいて、相談にものってくれますよとか。今のSNS時代にも良いのではないかと思います。以上です。

【渡邊会長】

確かに石狩市のホームページから入って厚田を探すより、独自に厚田暮らしというか、厚田の魅力も含めて空き家情報、もし農業がやりたいのであればそこから情報を得るとか、今の時代必要だと思いますね。今後の検討ですね。

それから若い人たちが少しずつですが帰って来ていたりします。地域協議会としては難しいかもしれないけど、協議会の後に座談会として、一緒に話を出来れば良いなと思いますね。座談会の方も今後検討したいと思います。

6. 報告事項

(1) 厚田区地域おこし協力隊の募集について

資料2：石狩市地域おこし協力隊募集要項及び募集チラシ

【(厚) 地域振興課 寺尾主査】

お手元に先月の地域協議会でご承認いただいた「地域おこし協力隊」の募集要項を、浜益区での募集内容も記載し、チラシとセットで配付しています。チラシは、今回も飯塚隊員にとっても良いモノを作ってもらいました。チラシは、道

庁や大通駅といった札幌市内、首都圏の移住相談窓口などに設置しているほか、Web上では、協力隊募集の総合窓口となっているJOIN（（一社）移住交流推進機構）のホームページや石狩市ホームページ、SNS等で周知しています。現時点で応募はありませんが、2月末の締め切りまで1ヶ月以上ありますので、SNS等で周知できる方は協力をお願いします。

(2) おためし地域おこし協力隊の実施について（中間報告）

【（厚）地域振興課 寺尾主査】

1月から順次おためし地域おこし協力隊を受け入れており、1月8日から10日に1名、1月13日から15日に1名と、既に2回実施しました。実施に当たり、地域おこし協力隊検討委員会をはじめ、地域の色々な方々に協力いただきそれぞれ無事にプログラムをこなすことが出来ました。受け入れ中、地域おこし協力隊の2人にも可能な限り同行してもらいましたので、詳しくは奥本隊員から報告をしてもらいます。みなさん、モニターをご覧ください。

～奥本隊員よりパワーポイントで説明

【（厚）地域振興課 寺尾主査】

なお、2月にも3名を受け入れる予定でしたが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止の方向で検討しています。この事業は、来年度も実施を予定していますので、今回の成果と課題をふまえ、あらためて企画したいと考えています。

(3) 厚田区集落支援員の募集について

資料：厚田区集落支援員募集回覧及び集落支援員制度の紹介回覧

【（厚）地域振興課 寺尾主査】

検討委員会で16回の会議を重ね、いよいよ集落支援員、愛称「あつクラ」の募集をする運びとなりました。お手元のチラシをご覧ください。募集期間は、2月1日から15日まで、募集人数は1名となります。あつクラの活動内容等は既に説明しているので詳しくは説明しませんが、平成30年の区民アンケートの結果もふまえ、厚田区内の課題を把握し、把握した課題の解決に向けたトータルコーディネートの役割を担うこととなります。裏面を見ていただいて、募集対象を厚田の実情に詳しい人としていますので、募集方法は、区内回覧と市ホームページとし、書類審査、2月24日の面接を経て、支援員を決定する運びとなります。

私からは以上です。

(4) その他

資料：新型コロナワクチンの追加接種（3回目）についてチラシ

【（厚）東支所長】

私から新型コロナワクチン3回目の関係についてご説明いたします。お手元のチラシについては、1月14日に全戸配布させていただきましたのでご自宅にもあるかと思いますが、改めてポイントをご説明いたします。

まず、3回目の接種券の発送が始まっております。2回目の接種が早期に完了した方から順次お配りしている状況です。厚田区におきましては、天候も充分考慮しまして、3月3日から厚田保健センターでの接種を予定しております。それまでに接種券が届いて、2月中に、早めに接種を希望する方については、2月19日から花川南コミセンでスタートしますので、そちらに予約し受けていただく形になります。

また、3月末、4月に厚田総合センターで大規模接種を行う予定です。詳細が決まり次第、改めて皆様にお伝えしたいと思います。

接種会場は今のところですが、花川南コミュニティセンターが2月19日から、厚田保健センターが3月3日からと

なります。りんくるは今のところ開始日については未定となっております。市内の医療機関につきましては、コールセンターあるいはオンラインの予約サイトでご確認いただきたいと思います。厚田区の方につきましては、りんくる、花川南コミセンでの接種も可能でございます。電話、予約サイトで対応出来ますので、そちらから予約いただきたいと思います。

以上、3回目につきまして、このような状況で動いておりますのでご報告させていただきました。
私からは以上です。

【 渡邊会長 】

事務局からは以上でよろしいですか。では、私の方から一つ。

先日1月25日、厚田区に設置された地産地消エネルギーを運営する民間業者の選定会議があり、私も委員として出席いたしました。私どもとしては、地元にどのように貢献してもらえるか、この事業を厚田学園の子どもに限らず、学ぶ機会や見学会などをどの様に活かしていくのか気になりました。幸い業者からのお話では力を入れてくださるということでした。最終的に業者はまだ決定しておりませんが、一応そのようなことがございましたので報告させていただきました。

6. その他

【 渡邊会長 】

委員の皆さんから全体を通して何か確認、質問等ございませんか。なければ次回の日程について事務局からお願いいたします。

【 (厚) 地域振興課 高田課長】

次回の日程は、2月24日木曜日17時00分から望来コミュニティセンターみなくるでご提案いたします。

【 全委員 】

了解。

7. 閉会

【 渡邊会長 】

本日はこれで終了したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

○次回の日程について

令和4年2月24日(木)17時00分～ 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

令和4年2月24日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡辺 教内